

Dyslexia 読字障害



出版元：財団法人 日本障害者リハビリテーション協会『「読める」って楽しい。』より抜粋

知的な遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する、推論するなどの能力のうち特定のものができないのが「学習障害」。中枢神経に何らかの機能障害があると推定され、このうち特に読み書きに困難を伴う場合が「ディスレクシア」。ギリシア語の「できない(dys)」と「読む(lexia)」に由来。耳から入る情報、目から入る情報などを正確に自動的にすばやく処理できないことに起因。

南雲君の場合



- 「書く」
- ・ 黒板を写すのに時間がかかって授業についていくのが難しい
 - ・ 習字などで、紙からはみだしたり、バランスが取れないため、文字が認識しにくい
- 「読む」
- ・ 教科書を読むのが著しく遅く、行を読み飛ばしたり、漢字を読み飛ばしたりする
 - ・ 文字を追うことに精一杯で、文章読解ができず、ある程度理解はできていても、テスト時間内に終わらない
- 「聞く」
- ・ 指示をされても、聞き取ることが難しく、集団行動がうまくできない
 - ・ 連続で複数のことを覚えていることができず、聞き取りミスが多くなり、叱責される回数が増える

ディスレクシアの特徴は、1人1人それぞれ違います。

「読み書き」について

長い文章・音読が苦手 	語句や行を抜かしたり、繰り返し読みたり 	逆さ読み 36→63? 字の形を混同 はし → ほし★
字の置き換え おとこ → おとこ	一字一句は読めても文意がわからない 文+字 = ?	文字のアンバランス
勝手読み クリニック → クリーニング	似た漢字を間違える 作る → 使う	

「聞くこと」について

似た音を聞き誤る 	集団より個別に言われた方が理解できる 	内容理解が困難
--------------	------------------------	-------------

「その他」

左右をよく間違える 右? 左?	視覚的・聴覚的短期記憶が悪い (見たり聞いてもすぐ忘れる) 	計算はできるのに図形や文章問題が苦手
名称などがすぐに出ない あれ... それ...	手先が不器用 	

忘れ物が多い

(出展元：財団法人日本障害者リハビリテーション協会『「読める」ってたのしい。』より、抜粋)

アメリカでは人口の10%が、日本では4.5%がディスレクシアとも言われています。著名人では、トム・クルーズ、ワービー・ゴールドバーグがディスレクシアであることを公にしています。その他、アインシュタイン、エジソン、ガウディ、ピカソ、ダ・ヴィンチ、デズニーなどもディスレクシアだったと言われています。